

# 南河内二次医療圏における 自殺と依存症の概要

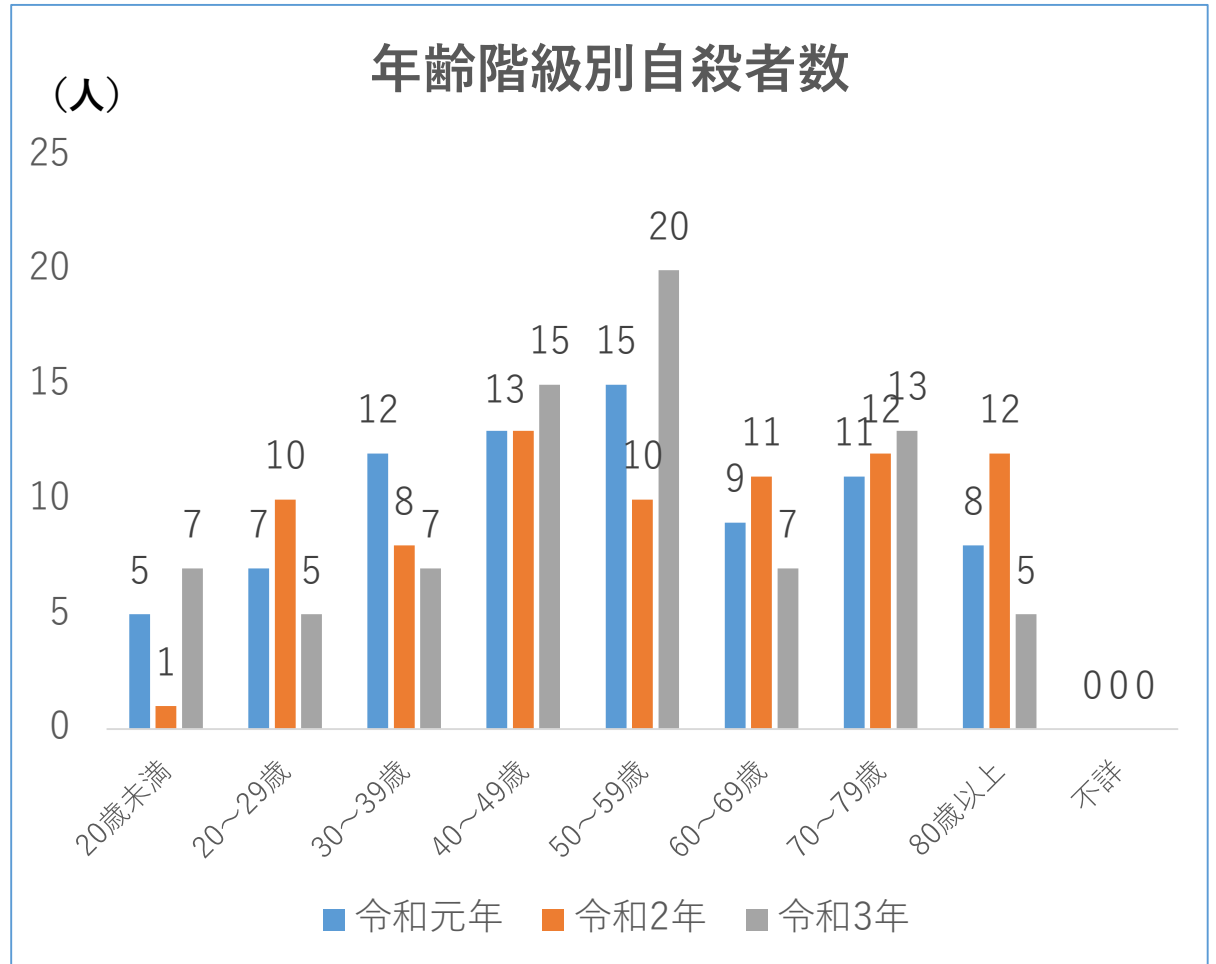
令和4年 11月 30日

令和4年度 南河内精神医療懇話会

# ①南河内医療圏域の自殺の現状【総数・年齢別】

全国・大阪府・南河内医療圏域における自殺者数（人）

	全国		大阪府		南河内	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和元年	14,078	6,091	804	427	56	24
令和2年	14,055	7,026	881	528	50	27
令和3年	13,939	7,068	864	512	50	29

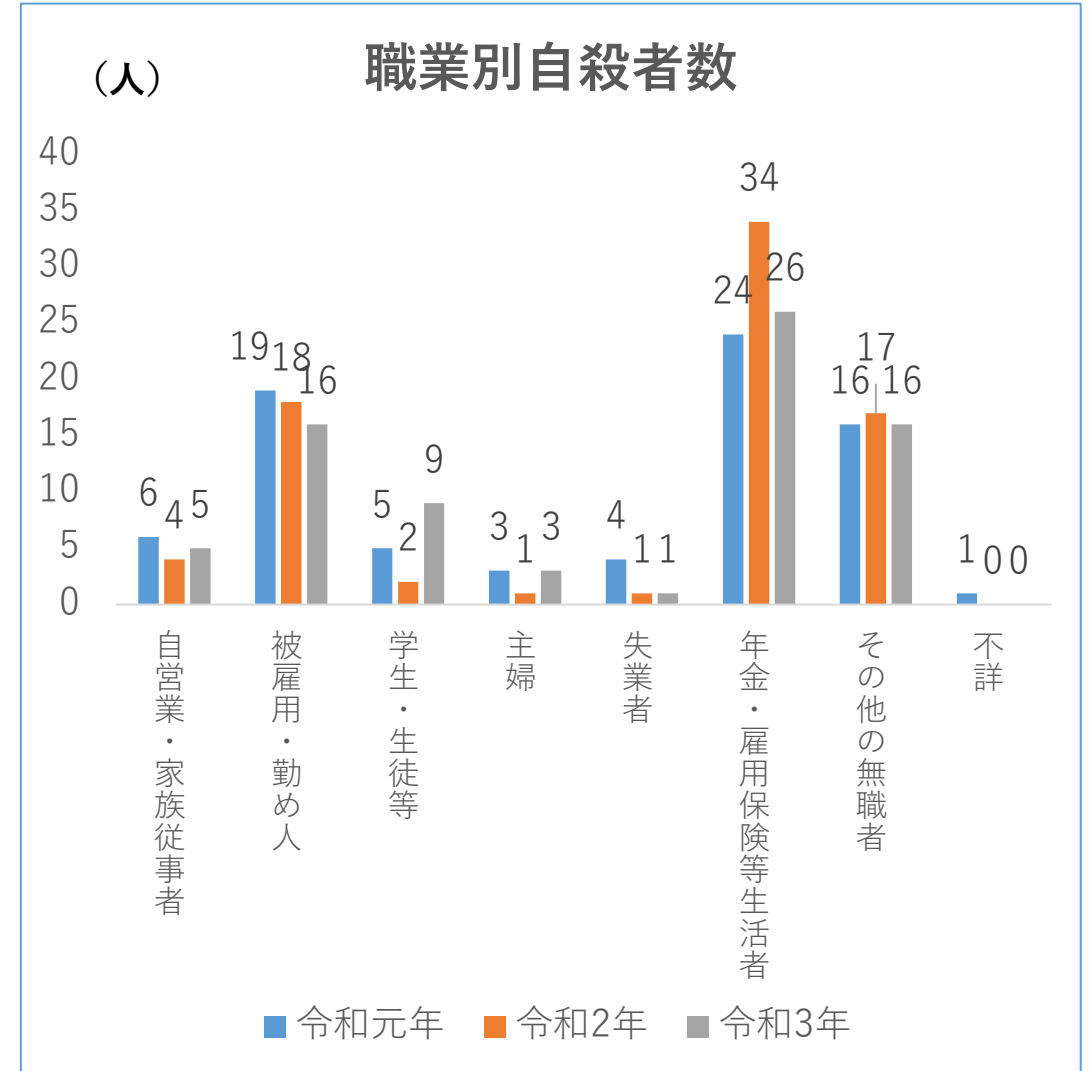
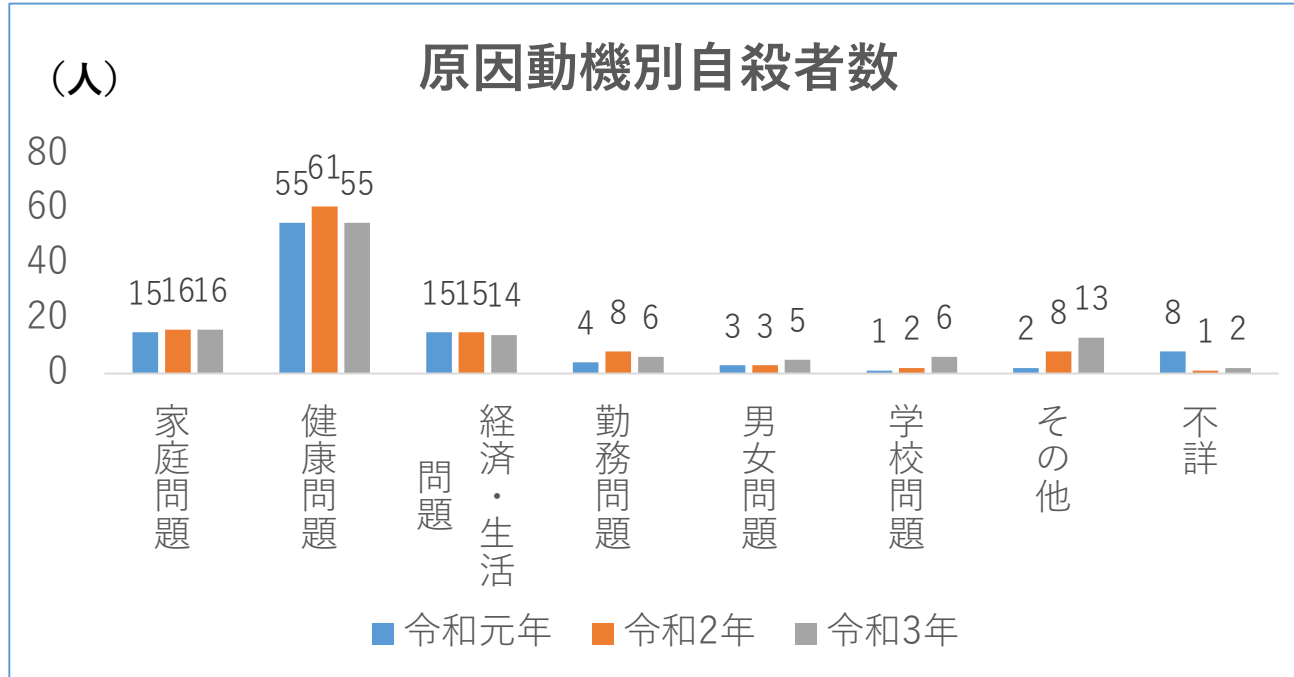


## 【南河内二次医療圏の特徴①】

- 20歳未満、50～59歳が増加傾向。
- R3年は、50～59歳の人数が一番多い。
- 府と同じく、20歳未満と70歳代が増加傾向。

参考：「地域における自殺の基礎資料」 発見日・住居地

# ①南河内医療圏域の自殺の現状【職業・原因動機別】



**【南河内二次医療圏の特徴②】**

- 健康問題が最多、次いで家庭問題が多い。
- 年金・雇用保険等生活者が最多、次いで被雇用・勤め人・その他の無職者が多い。
- 学生・生徒等が増加傾向。

参考：「地域における自殺の基礎資料」 発見日・住居地

## ②南河内医療圏域における自殺未遂者相談支援事業【事業概要】

- ・平成21年4月～堺市で同様の事業をモデル実施。同年11月～大阪市で同様の事業をモデル実施。

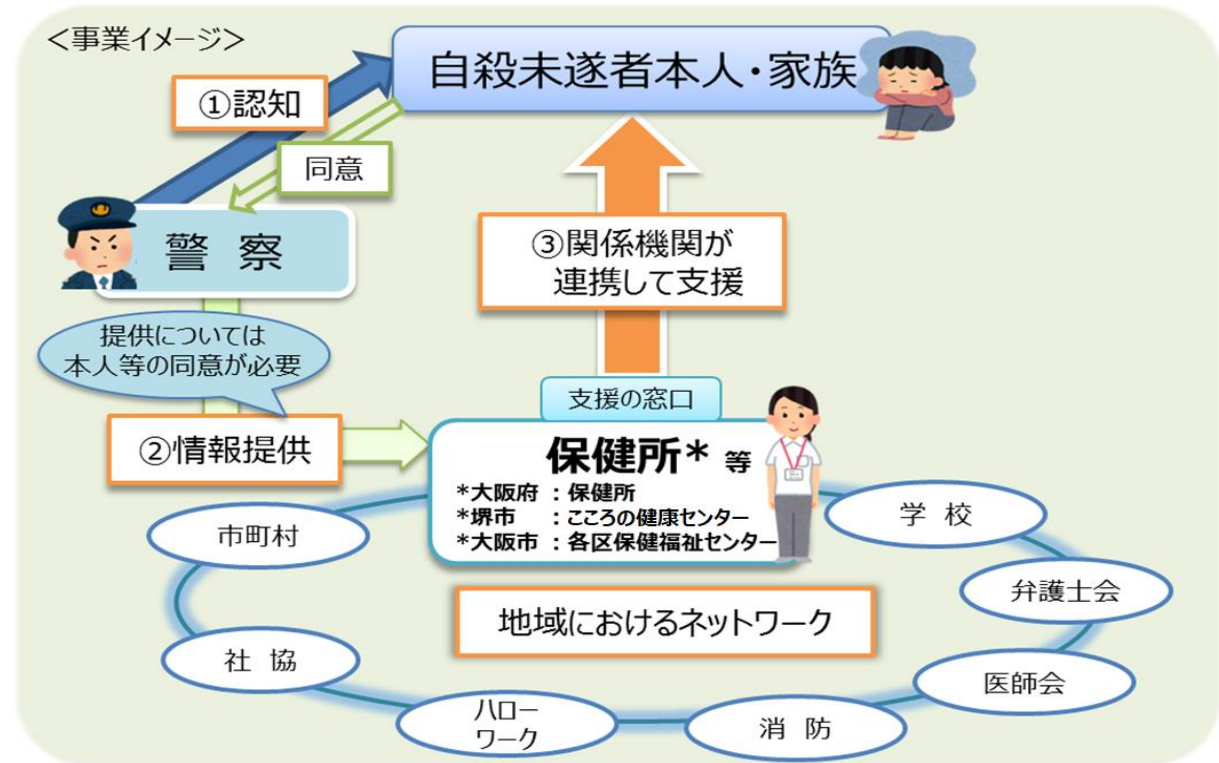
平成25年1月より政令市・中核市を含む大阪府全域＝「オール大阪」で事業を開始。

### 【目的】

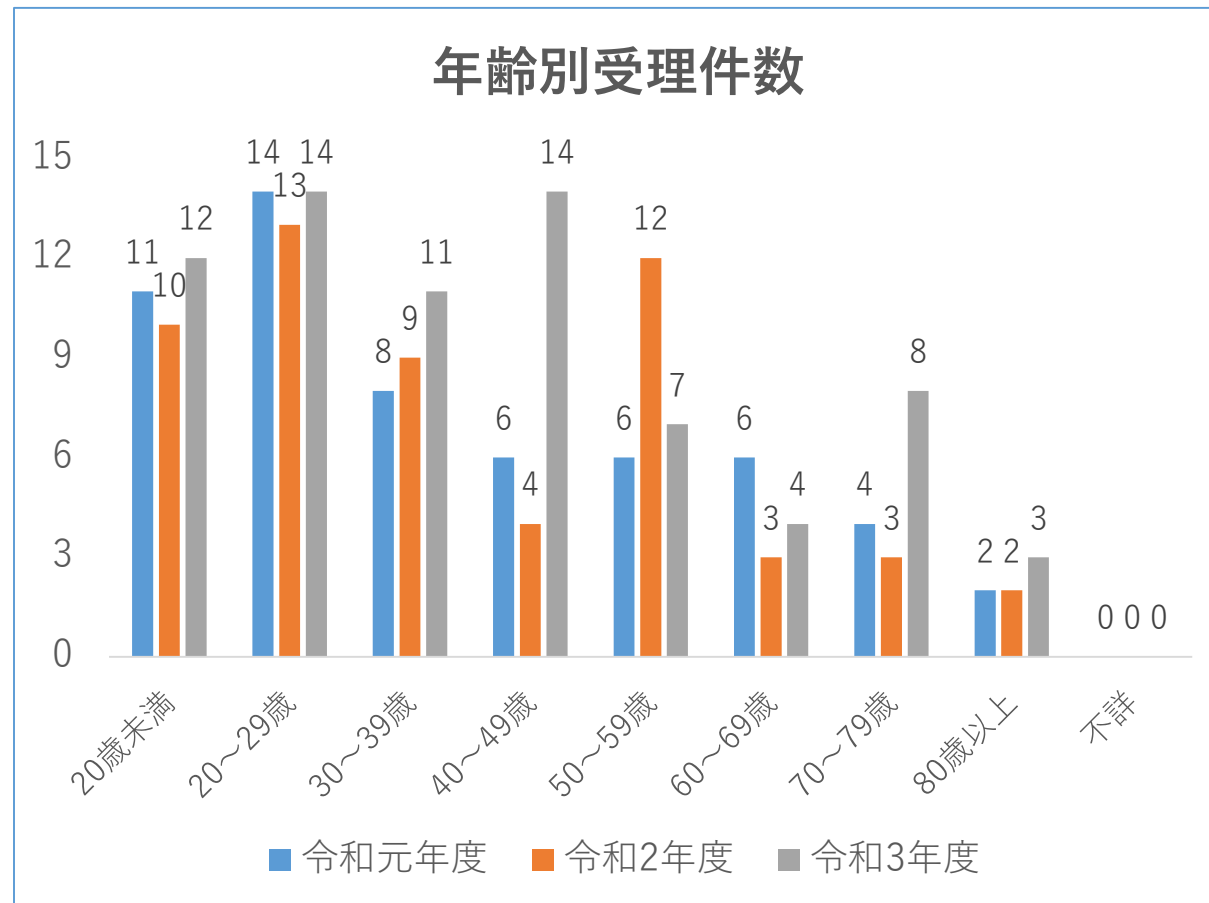
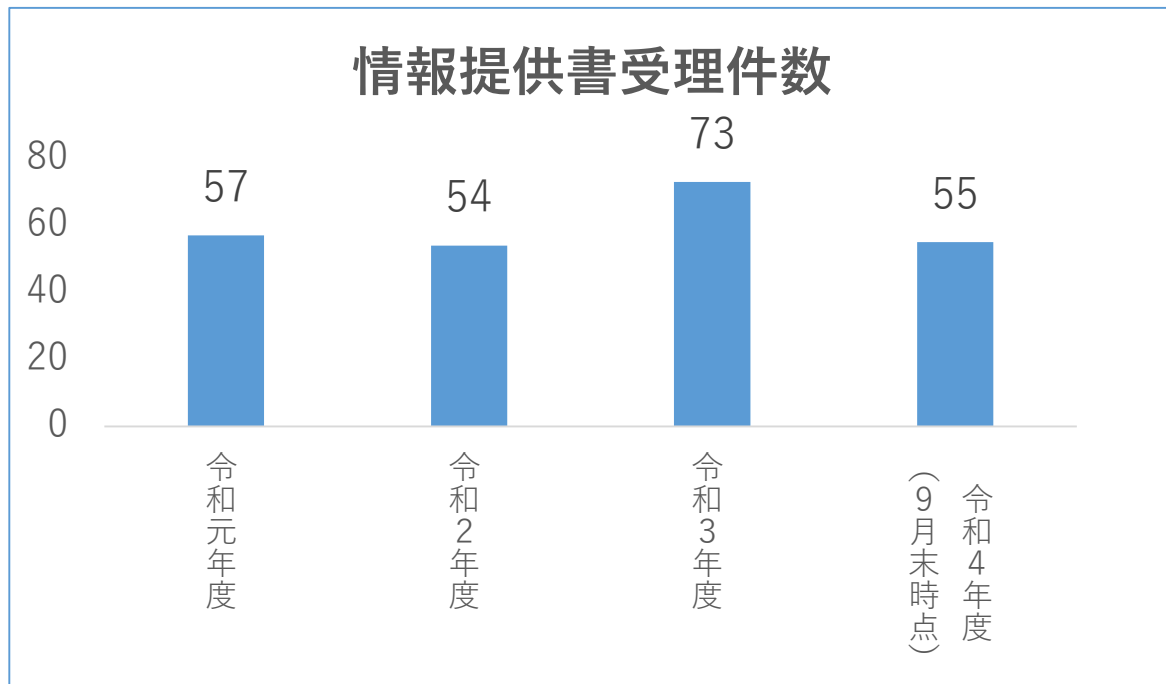
未遂者の再度の自殺企図を防ぐことを目的とする  
(未遂者は自殺の再企図の可能性が高いといわれているため)

### 【事業の内容】

警察署で自殺未遂事案として取扱いを受けた人のうち、本人やその家族にその相談の希望があり、保健所への情報提供に同意がとれた人について、情報提供を受けた保健所が相談支援を行う。



## ②南河内医療圏域における自殺未遂者相談支援事業 【総数（情報提供受理件数）・年齢別】



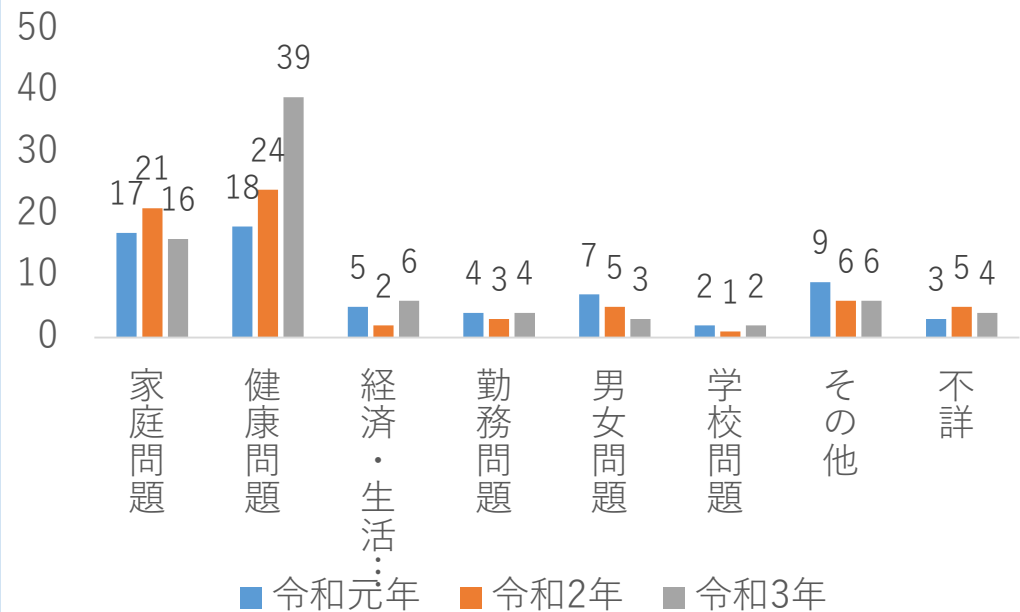
#### 【概要①】

- 相談件数は増加傾向で、令和4年度も昨年度を上回る予想。
- 支援対象者の年齢は、20代と40代が最も多く、次いで20歳未満が多い。

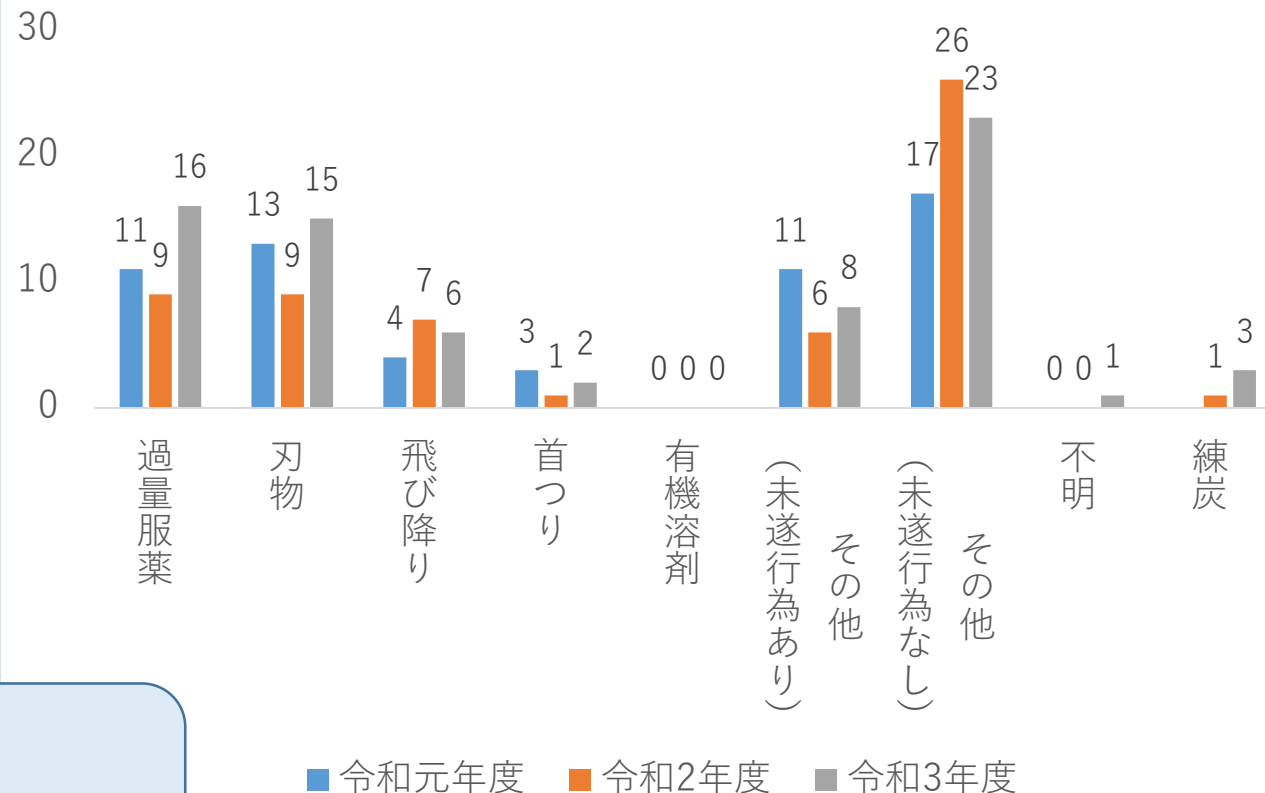
参考：保健所における自殺未遂者支援事業の状況

## ②南河内医療圏域における自殺未遂者相談支援事業 【原因動機別・未遂手段別】

### 原因動機別受理件数



### 未遂手段別受理件数



#### 【概要②】

- 原因動機は、健康問題が最も多い。
- 未遂手段は、その他（未遂行為なし）が最も多い。

参考：保健所における自殺未遂者支援事業の状況

## ③南河内医療圏域における依存症関連問題への個別支援状況 【アルコール】

【相談の状況】 相談件数は増加傾向。令和4年度も昨年度を上回る予想。

【初回相談者】 家族からの相談が最も多く、関係機関からの相談もある。

単位：件

	家族	本人	警察	市町村 職員	相談支援 事業所	地域包括 支援C	医療機関	その他	総計
令和2年度	26	4	4	5	1	2	0	7	49
令和3年度	29	10	4	4	2	1	0	6	56
令和4年度 7月末現在	17	6	4	1	2	2	1	1	34

【対象者の年齢】 対象者は50代と60代が多い。

単位：件

	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	不明	総計
令和2年度	1	6	6	8	12	7	5	2	2	49
令和3年度	0	5	7	10	11	11	9	3	0	56
令和4年度 7月末現在	1	2	3	2	12	8	3	3	0	34

参考：保健所における「こころの健康相談」の個別支援状況

### ③南河内医療圏域における依存症関連問題への個別支援状況【薬物】

【相談の状況】 令和4年度は、昨年度を上回る予想。

【初回相談者】 家族からの相談が最も多く、警察からの相談もある。

単位：件

	家族	警察	本人	市町村 職員	相談支援 事業所	その他	総計
令和2年度	3	3	4	2	1	1	14
令和3年度	4	3	2	0	0	4	13
令和4年度 7月末現在	6	2	0	0	0	2	10

【対象者の年齢】 対象者は20代が多い。

単位：件

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	総計
令和2年度	2	4	6	2	14
令和3年度	1	6	4	2	13
令和4年度 7月末現在	0	6	4	0	10

参考：保健所における「こころの健康相談」の個別支援状況



# ③南河内医療圏域における依存症関連問題への個別支援状況 【ギャンブル】

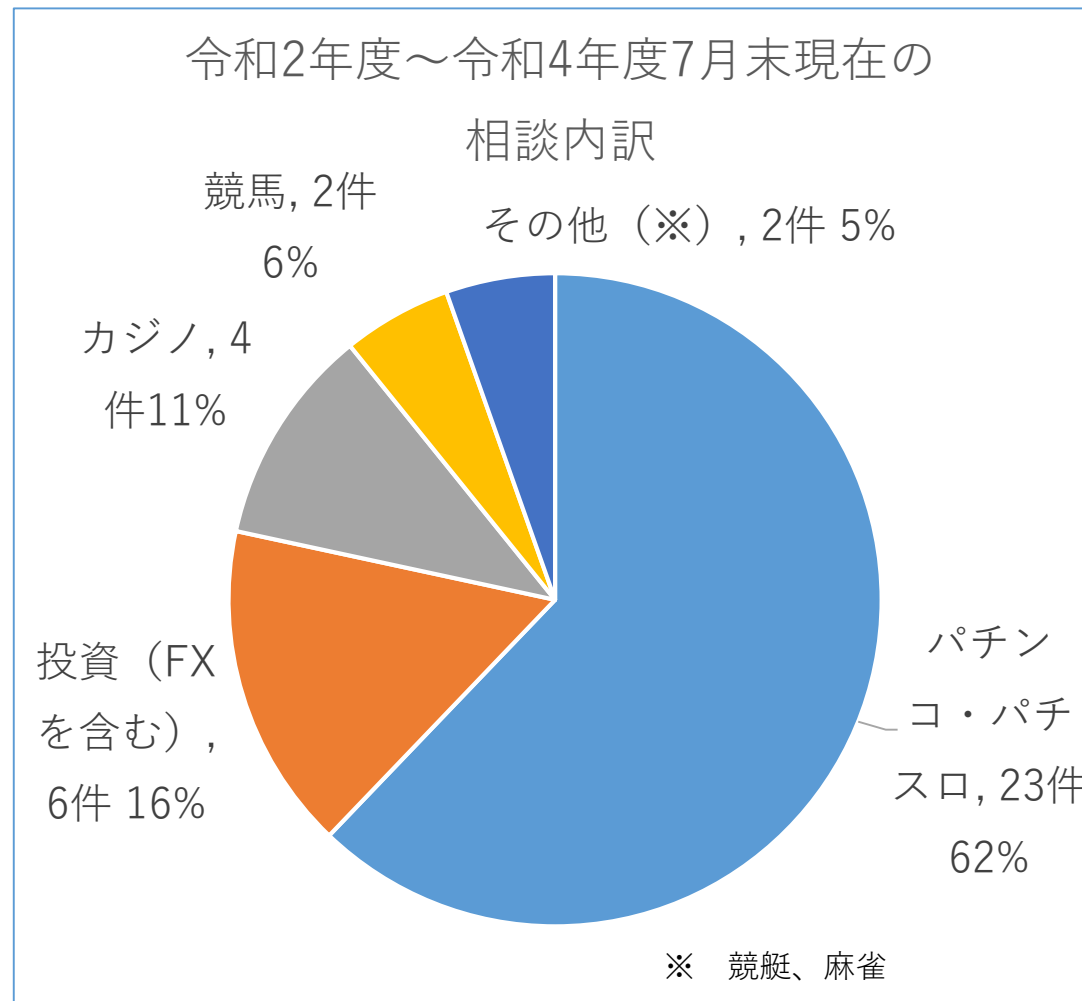
【相談の状況】 令和4年度は、昨年度をすでに上回っている。

【初回相談者】 本人・家族からの相談が多い。 単位：件

	本人	家族	地域包括 支援C	その他	総計
令和2年度	5	8	0	1	14
令和3年度	5	3	0	1	9
令和4年度 7月末現在	7	6	1	0	14

【対象者の年齢】 対象者は20代が多い。 単位：件

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	70～79歳	総計
令和2年度	8	3	3	0	0	14
令和3年度	5	2	1	1	0	9
令和4年度 7月末現在	7	2	4	0	1	14



参考：保健所における「こころの健康相談」の個別支援状況

# ③南河内医療圏域における依存症関連問題への個別支援状況 【その他】

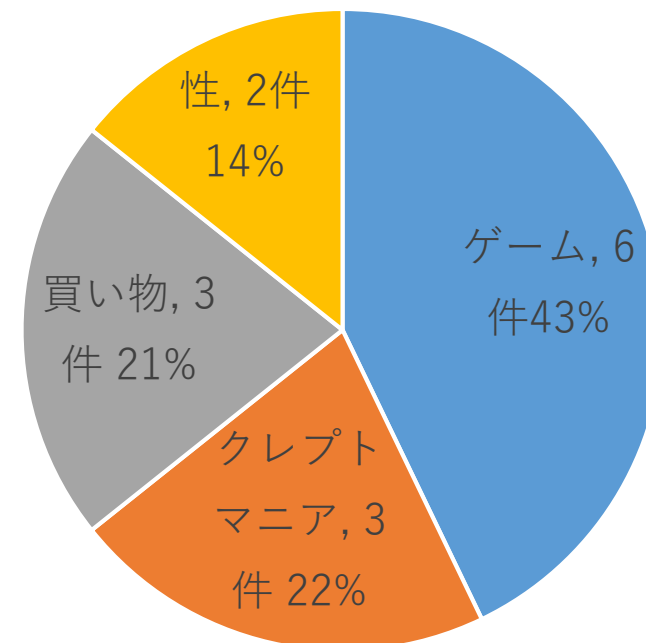
【初回相談者】 家族からの相談が多い。 単位：件

	家族	本人	警察	その他	総計
令和2年度	3	1	1	2	7
令和3年度	5	3	1	0	9
令和4年度 7月末現在	2	0	0	0	2

【対象者の年齢】 20歳未満～30代が多い。 単位：件

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	50～59歳	総計
令和2年度	2	1	2	2	7
令和3年度	2	3	3	1	9
令和4年度 7月末現在	1	1	0	0	2

令和2年度～令和4年度7月末現在の  
相談内訳



参考：保健所における「こころの健康相談」の個別支援状況

## ④南河内医療圏域における保健所事業の実施状況について 【自殺対策・依存症関係】

### ◆自殺対策

- 精神保健医療連携推進会議（ネットワーク会議）  
精神保健医療にかかる連携・協議の場を設け、管内の自殺対策や依存症対策等の課題について検討等を行っている。

### ◆依存症対策

- 依存症事例検討会  
依存症の診療経験が豊富な医師の講義と事例検討を通じて、若年層の依存症の理解を深め、具体的な対応について考えてもらう機会としている。
- OACミニフォーラム  
依存症に関する基礎知識の普及・啓発及び、参加機関の取組みの共有と支援者同士の顔の見える関係作りの場としている。

## ④南河内医療圏域における保健所事業の実施状況について 【若年層向け啓発事業】

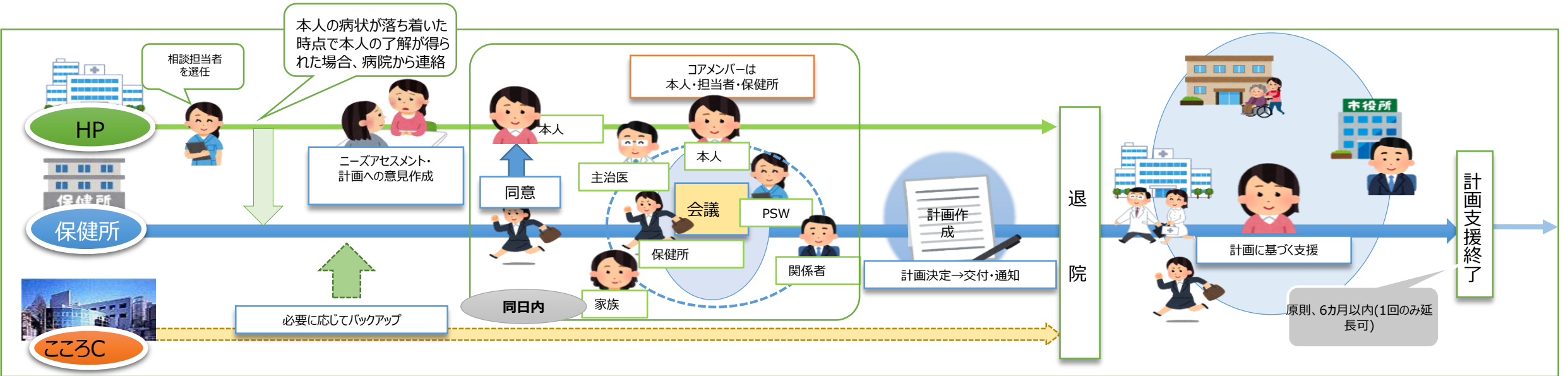
### ◆若年層向け啓発事業

- 学校（小学校～大学）への出前講座  
生徒や教員を対象に、こころの健康についての講座を開催  
例：依存（スマホ・ネット等）と不登校、20歳未満者飲酒防止教室など
- 大学生を対象としたメンタルヘルスの実態調査  
令和3年度に藤井寺保健所管内の大学に働きかけ、調査を行った。  
調査結果を基に、啓発資料を作成した。

## ④南河内医療圏域における保健所事業の実施状況について 【その他】

- ◆こころの健康相談
- ◆地域包括ケアシステム推進会議  
(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場)
- ◆精神障がい者家族教室
- ◆関係機関職員研修
- ◆精神科病院実地指導
- ◆ピアサポーター支援
- ◆措置診察の立ち会い
- ◆医療観察法における個別支援
- ◆啓発事業 (ポスター掲示、ホームページ等)
- ◆市町村が主催する各会議への参画
- ◆措置入院者等退院後支援事業 等

# ⑤保健所事業の情報提供【措置入院者等退院後支援事業】



**対象者**  
措置入院、緊急措置入院により入院した者で本事業に同意した者

- 保健所**
- ① 本人意向の確認
  - ② 会議を病院にて開催
  - ③ 計画の作成・交付
  - ④ 退院後、計画に基づく支援の実施

- ① 相談担当者の選任
- ② 本人同意の意向確認  
⇒ 計画支援について本人の了解が得られた場合は、  
帰住先保健所に連絡
- ③ ニーズアセスメントの実施
- ④ 計画への意見の作成
- ⑤ 会議に参加